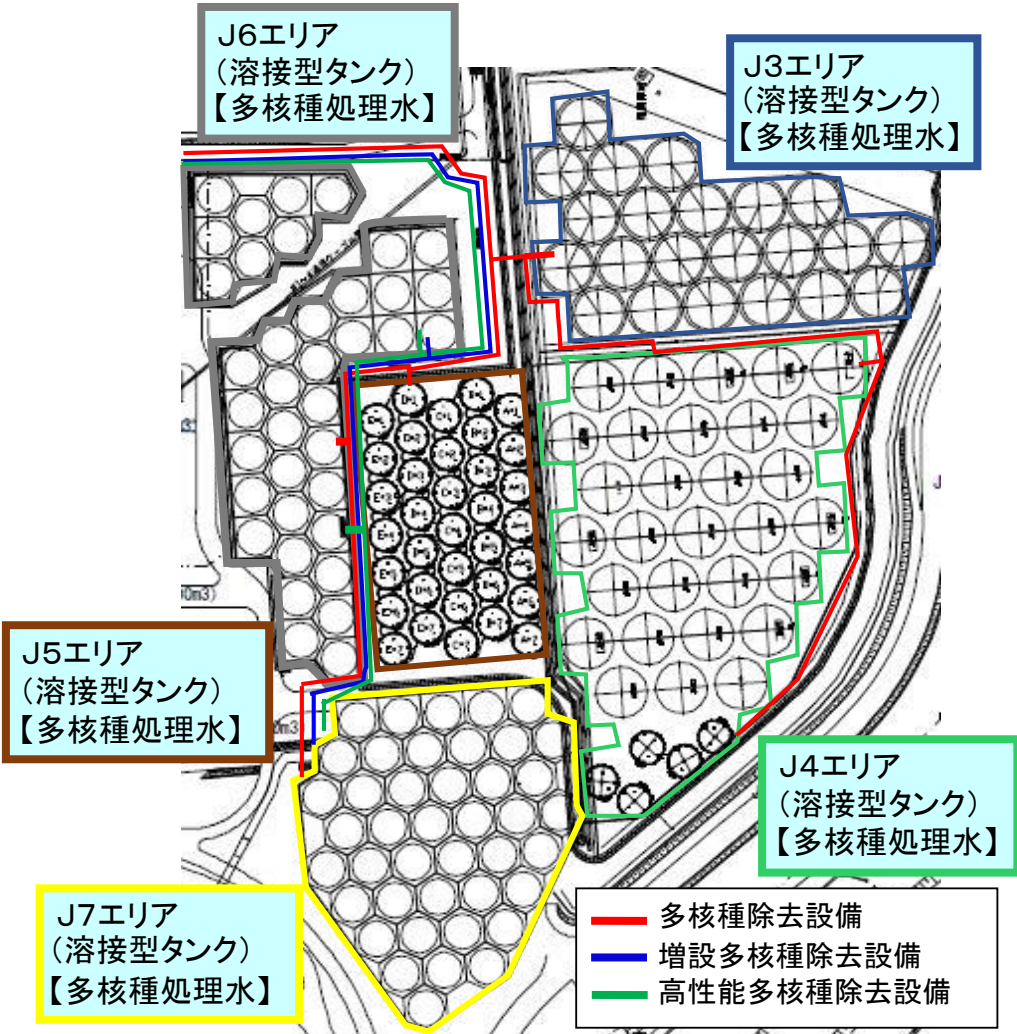
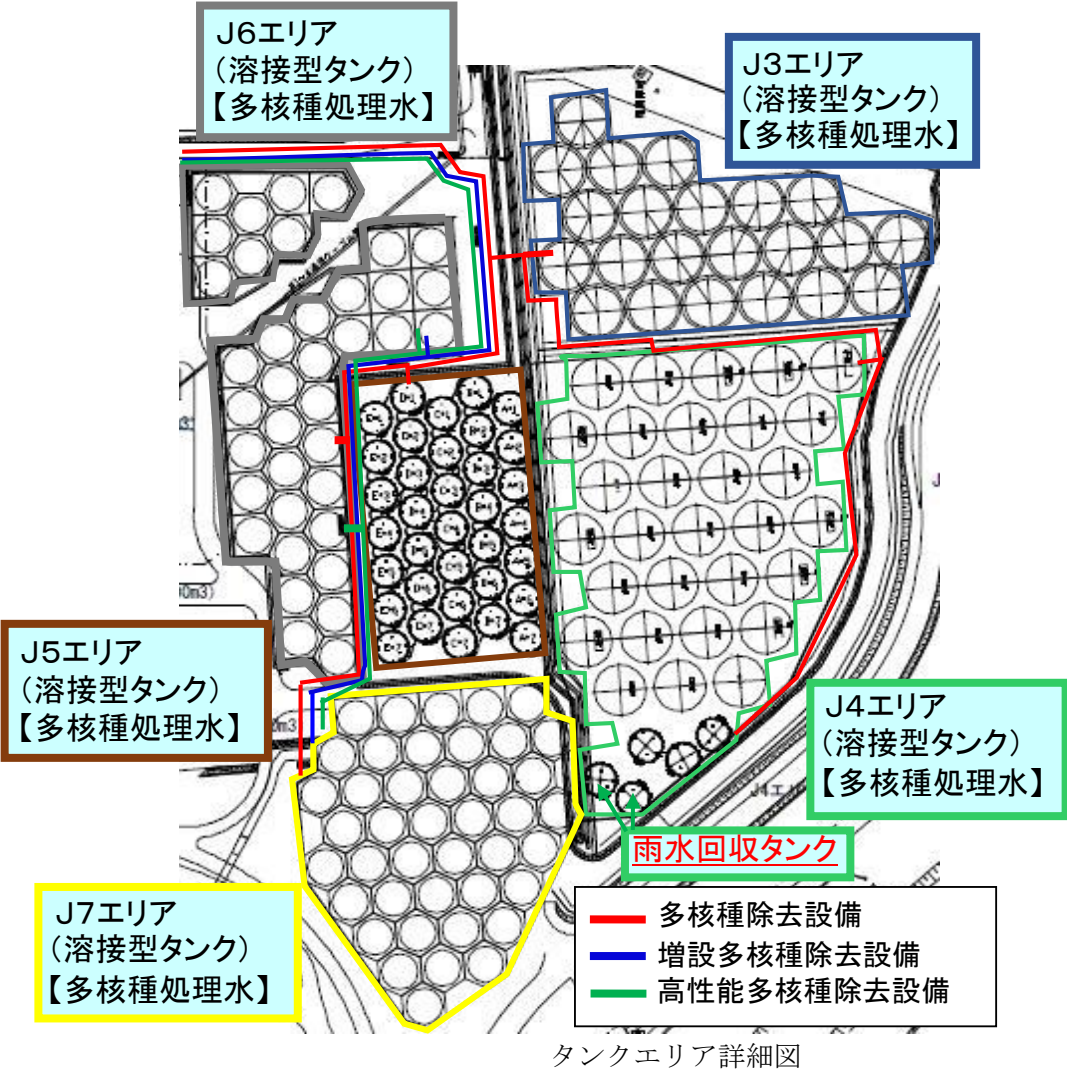


変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
2.5 汚染水処理設備等 (中略) 2.5.2 基本仕様 2.5.2.1 主要仕様 2.5.2.1.1 汚染水処理設備，貯留設備（タンク等）及び関連設備（移送配管，移送ポンプ等） (中略) (32)多核種処理水貯槽※^{1,3,4} 合計容量（公称）<u>1,138,789</u> m³ 基 数 <u>799</u> 基 容量（単基）700m³，1,000m³，1,060m³，1,140m³，1,160m³，1,200m³，1,220 m³，1,235m³，1,330m³，1,356m³，2,400m³，2,900m³／基※² 材 料 SS400，SM400A，SM400B，SM400C，SM490A，SM490C 板厚（側板）12mm（700m³，1,000m³，1,160m³，1,200m³，1,220m³，1,235m³，1,330m³，1,356m³），18.8mm（2,400m³），15mm（1,000 m³，1,060m³，1,140m³，1,330m³，2,900m³），16mm（700m³） (中略) 添付資料－ 1 1 中低濃度タンクの設計・確認の方針について (中略) 別紙－ 6 中低濃度タンク（円筒型）の基礎外周堰の堰内容量に関する説明書 (中略)	2.5 汚染水処理設備等 (中略) 2.5.2 基本仕様 2.5.2.1 主要仕様 2.5.2.1.1 汚染水処理設備，貯留設備（タンク等）及び関連設備（移送配管，移送ポンプ等） (中略) (32)多核種処理水貯槽※^{1,3,4} 合計容量（公称）<u>1,136,469</u> m³ 基 数 <u>797</u> 基 容量（単基）700m³，1,000m³，1,060m³，1,140m³，1,160m³，1,200m³，1,220 m³，1,235m³，1,330m³，1,356m³，2,400m³，2,900m³／基※² 材 料 SS400，SM400A，SM400B，SM400C，SM490A，SM490C 板厚（側板）12mm（700m³，1,000m³，1,160m³，1,200m³，1,220m³，1,235m³，1,330m³，1,356m³），18.8mm（2,400m³），15mm（1,000 m³，1,060m³，1,140m³，1,330m³，2,900m³），16mm（700m³） (中略) 添付資料－ 1 1 中低濃度タンクの設計・確認の方針について (中略) 別紙－ 6 中低濃度タンク（円筒型）の基礎外周堰の堰内容量に関する説明書 (中略)	雨水回収タンク（J 2，J 3）から J 4－L 4，J 4－L 5 タンクへの機能移転に伴う変更

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅱ章 2.5 汚染水処理設備等）

変 更 前									変 更 後									変 更 理 由
表－２　各タンク設置エリアの基礎外周堰の堰内容量（１／２）									表－２　各タンク設置エリアの基礎外周堰の堰内容量（１／２）									雨水回収タンク（Ｊ２，Ｊ３）からＪ４－Ｌ４，Ｊ４－Ｌ５タンクへの機能移転に伴う変更
設置場所	タンク設置基数	想定漏えい		基礎外周堰の堰内容量（㎡）	（計画値）				設置場所	タンク設置基数	想定漏えい		基礎外周堰の堰内容量（㎡）	（計画値）				
		基数	容量（㎡³）		基礎外周堰内面積（㎡²）	タンク専有面積（㎡²）	貯留可能面積（㎡²）	基礎外周堰の高さ（㎡）			基数	容量（㎡³）		基礎外周堰内面積（㎡²）	タンク専有面積（㎡²）	貯留可能面積（㎡²）	基礎外周堰の高さ（㎡）	
J1（Ⅰ）	28	1.4	1,400	1,823 以上	5,158	3,051	2,107	0.865 以上	J1（Ⅰ）	28	1.4	1,400	1,823 以上	5,158	3,051	2,107	0.865 以上	
J1（Ⅱ）	35	1.75	1,750	2,281 以上	6,494	3,842	2,652	0.860 以上	J1（Ⅱ）	35	1.75	1,750	2,281 以上	6,494	3,842	2,652	0.860 以上	
J1（Ⅲ）	37	1.85	1,850	2,411 以上	6,875	4,068	2,807	0.859 以上	J1（Ⅲ）	37	1.85	1,850	2,411 以上	6,875	4,068	2,807	0.859 以上	
J2※⁴	42	2.1	5,040	6,208 以上	6,883 6,139 1,073	4,556 3,728 －	2,327 2,411 1,073	1.121 以上※⁴ 0.771 以上※⁴ 1.621 以上※⁴	J2※⁴	42	2.1	5,040	6,208 以上	6,883 6,139 1,073	4,556 3,728 －	2,327 2,411 1,073	1.121 以上※⁴ 0.771 以上※⁴ 1.621 以上※⁴	
J4	35	1.75	5,075	6,208 以上	12,660	6,991	5,669	1.095 以上	J4	35※⁹	1.75	5,075	6,208 以上	12,660	6,991	5,669	1.095 以上	
J7	42	2.1	2,520	3,146 以上	7,671	4,547	3,124	1.007 以上	J7	42	2.1	2,520	3,146 以上	7,671	4,547	3,124	1.007 以上	
H1 東	24	1.2	1,464	1,857 以上	4,562	2,606	1,956	0.949 以上	H1 東	24	1.2	1,464	1,857 以上	4,562	2,606	1,956	0.949 以上	
K3	12	1	700	836 以上	1,248	572	676	1.236 以上	K3	12	1	700	836 以上	1,248	572	676	1.236 以上	
K4	35※⁸	1.75	1,750	2,190 以上	5,145	2,944	2,201	0.995 以上	K4	35※⁸	1.75	1,750	2,190 以上	5,145	2,944	2,201	0.995 以上	
H2	44	2.2	5,280	6,548 以上	15,035	8,697	6,338	1.033 以上	H2	44	2.2	5,280	6,548 以上	15,035	8,697	6,338	1.033 以上	
H4 北	35	1.75	2,100	2,656 以上	6,630	3,861	2,769	0.959 以上	H4 北	35	1.75	2,100	2,656 以上	6,630	3,861	2,769	0.959 以上	
H4 南	51	2.55	2,910	3,567 以上	7,413	4,128	3,285	1.086 以上	H4 南	51	2.55	2,910	3,567 以上	7,413	4,128	3,285	1.086 以上	
G1 南	23	1.15	1,530	1,868 以上	3,815	2,129	1,686	1.108 以上	G1 南	23	1.15	1,530	1,868 以上	3,815	2,129	1,686	1.108 以上	
H5	32	1.6	1,920	2,510 以上	6,471	3,521	2,950	0.851 以上	H5	32	1.6	1,920	2,510 以上	6,471	3,521	2,950	0.851 以上	
H6（Ⅰ）	12※⁶	1	1,200	1,473 以上	2,564	1,200	1,364	1.080 以上	H6（Ⅰ）	12※⁶	1	1,200	1,473 以上	2,564	1,200	1,364	1.080 以上	
B	37	1.85	2,470	2,875 以上	4,287	2,262	2,025	1.420 以上	B	37	1.85	2,470	2,875 以上	4,287	2,262	2,025	1.420 以上	
B 南	7	1	1,330	1,485 以上	1,349	574	775	1.917 以上	B 南	7	1	1,330	1,485 以上	1,349	574	775	1.917 以上	
H3※⁴	10	1	1,356	1,633 以上	2,126 365	1,109 －	1,017 365	1.050 以上※⁴ 1.550 以上※⁴	H3※⁴	10	1	1,356	1,633 以上	2,126 365	1,109 －	1,017 365	1.050 以上※⁴ 1.550 以上※⁴	
H6（Ⅱ）	24	1.2	1,630	2,034 以上	4,855	2,834	2,021	1.007 以上	H6（Ⅱ）	24	1.2	1,630	2,034 以上	4,855	2,834	2,021	1.007 以上	
G3 北	6	1	1,100	1,322 以上	1,677	569	1,108	1.193 以上※⁴ 1.393 以上※⁴	G3 北	6	1	1,100	1,322 以上	1,677	569	1,108	1.193 以上※⁴ 1.393 以上※⁴	
G3 西	40※⁵	2.5	2,600	3,453 以上	8,072	4,320	3,752	0.878 以上	G3 西	40※⁵	2.5	2,600	3,453 以上	8,072	4,320	3,752	0.878 以上	
G7	10				1,019	520	499	0.315 以上	G7	10				1,019	520	499	0.315 以上	
G6	38	1.90	2,530	3,024 以上	6,002	3,536	2,466	1.226 以上	G6	38	1.90	2,530	3,024 以上	6,002	3,536	2,466	1.226 以上	
K2	28	1.40	1,480	1,948 以上	4,462	2,133	2,329	0.836 以上	K2	28	1.40	1,480	1,948 以上	4,462	2,133	2,329	0.836 以上	
D	41※⁷	2.05	2,140	2,679 以上	5,781	3,097	2,684	0.998 以上	D	41※⁷	2.05	2,140	2,679 以上	5,781	3,097	2,684	0.998 以上	
G1	66	3.30	4,480	5,408 以上	12,407	7,769	4,638	1.166 以上	G1	66	3.30	4,480	5,408 以上	12,407	7,769	4,638	1.166 以上	
G4 南	26	1.3	1,770	2,168 以上	5,064	3,083	1,981	1.094 以上	G4 南	26	1.3	1,770	2,168 以上	5,064	3,083	1,981	1.094 以上	

変 更 前									変 更 後									変 更 理 由
表－2 各タンク設置エリアの基礎外周堰の堰内容量（2／2）									表－2 各タンク設置エリアの基礎外周堰の堰内容量（2／2）									雨水回収タンク（J2，J3）からJ4－L4，J4－L5タンクへの機能移転に伴う追記
設置場所	タンク設置基数	想定漏えい		基礎外周堰の堰内容量（m ³ ）	（計画値）				設置場所	タンク設置基数	想定漏えい		基礎外周堰の堰内容量（m ³ ）	（計画値）				
		基数	容量（m ³ ）		基礎外周堰内面積（m ² ）	タンク専有面積（m ² ）	貯留可能面積（m ² ）	基礎外周堰の高さ（m）			基礎外周堰内面積（m ² ）	タンク専有面積（m ² ）		貯留可能面積（m ² ）	基礎外周堰の高さ（m）			
			①	②※ ¹									③			④	⑤※ ²	
G4 北※ ⁴	6	1	1,356	1,566 以上	1,203 457	617 －	586 457	1.376 以上※ ⁴ 1.661 以上※ ⁴	G4 北※ ⁴	6	1	1,356	1,566 以上	1,203 457	617 －	586 457	1.376 以上※ ⁴ 1.661 以上※ ⁴	
G5	17	1	1,356	1,610 以上	3,236	1,973	1,263	1.274 以上	G5	17	1	1,356	1,610 以上	3,236	1,973	1,263	1.274 以上	
※1 ②＝⑤×⑥ J2,H3,G4 北は場所により基礎外周堰の高さが異なるため，堰内容量は合計値を記載。 G3 西・G7 は基礎外周堰を共有しているため，想定漏えい容量および基礎外周堰の堰内容量は合計値を記載。									※1 ②＝⑤×⑥ J2,H3,G4 北は場所により基礎外周堰の高さが異なるため，堰内容量は合計値を記載。 G3 西・G7 は基礎外周堰を共有しているため，想定漏えい容量および基礎外周堰の堰内容量は合計値を記載。									
※2 ⑤＝③－④									※2 ⑤＝③－④									
※3 ⑥＝①／⑤＋0.2（余裕分 20cm） J2,H3 の基礎外周堰の高さは，想定漏えい容量を貯留可能な堰高さを求め，各々に余裕分 20cm を加えた値を記載。									※3 ⑥＝①／⑤＋0.2（余裕分 20cm） J2,H3 の基礎外周堰の高さは，想定漏えい容量を貯留可能な堰高さを求め，各々に余裕分 20cm を加えた値を記載。									
※4 J2,H3，G3 北，G4 北は場所により基礎標高が異なるため，計画値は各々の値を記載。									※4 J2,H3，G3 北，G4 北は場所により基礎標高が異なるため，計画値は各々の値を記載。									
※5 40 基中 1 基は雨水回収タンク									※5 40 基中 1 基は雨水回収タンク									
※6 12 基中 1 基は雨水回収タンク									※6 12 基中 1 基は雨水回収タンク									
※7 41 基中 12 基は RO 後淡水受タンク（RO 処理水貯槽及び蒸発濃縮処理水貯槽）									※7 41 基中 12 基は RO 後淡水受タンク（RO 処理水貯槽及び蒸発濃縮処理水貯槽）									
※8 35 基中 30 基は「Ⅱ 2.50 ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設」の測定・確認用タンクと兼用する。									※8 35 基中 30 基は「Ⅱ 2.50 ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設」の測定・確認用タンクと兼用する。									
									※9 35 基中 2 基は雨水回収タンク									
（中略）									（中略）									

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
(中略) 別紙－8  タンクエリア詳細図 (中略)	(中略) 別紙－8  タンクエリア詳細図 (中略)	雨水回収タンク（J2，J3）からJ4－L4，J4－L5タンクへの機能移転に伴う追記

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅱ章 2.5 汚染水処理設備等）

変 更 前						変 更 後						変 更 理 由
(別添) R0 濃縮水貯槽，多核種処理水貯槽，Sr 処理水貯槽及び濃縮廃液貯槽のエリア別の基数について						(別添) R0 濃縮水貯槽，多核種処理水貯槽，Sr 処理水貯槽及び濃縮廃液貯槽のエリア別の基数について						雨水回収タンク（J 2， J 3）から J 4ーL 4， J 4ーL 5 タンクへの機能移転に伴う変更
エリア	タンク公称容量 [m³]	(28) R0 濃縮水 貯槽	(32) 多核種処理 水貯槽	(43) Sr 処理水 貯槽	(44) 濃縮廃液貯 槽	エリア	タンク公称容量 [m³]	(28) R0 濃縮水 貯槽	(32) 多核種処理 水貯槽	(43) Sr 処理水 貯槽	(44) 濃縮廃液貯 槽	
G3 東	1,000	0	24			G3 東	1,000	0	24			
G3 北	1,000	6	0			G3 北	1,000	6	0			
G3 西	1,000	39	0			G3 西	1,000	39	0			
J1	1,000	100	0			J1	1,000	100	0			
その他	1,000	16	0			その他	1,000	16	0			
G7	700	10	0			G7	700	10	0			
J5	1,235		35			J5	1,235		35			
D	1,000	19	0		10	D	1,000	19	0		10	
J2	2,400		42			J2	2,400		42			
J3	2,400		22			J3	2,400		22			
J4	2,900		30			J4	2,900		30			
	1,160		5				1,160		3			
J6	1,200		38			J6	1,200		38			
K1 北	1,200			12		K1 北	1,200			12		
K2	1,057			28		K2	1,057			28		
K1 南	1,160			10		K1 南	1,160			10		
H1	1,220		63			H1	1,220		63			
J7	1,200		42			J7	1,200		42			
H1 東	1,220		24			H1 東	1,220		24			
K3	700		12			K3	700		12			
K4	1,000		35※			K4	1,000		35※			
H2	2,400		44			H2	2,400		44			
H4 北	1,200		35			H4 北	1,200		35			
H4 南	1,060		13			H4 南	1,060		13			
	1,140		38				1,140		38			
G1 南	1,160		8			G1 南	1,160		8			
	1,330		15				1,330		15			
H5	1,200		32			H5	1,200		32			
H6(Ⅰ)	1,200		11			H6(Ⅰ)	1,200		11			
B	1,330		10			B	1,330		10			
	700		27				700		27			
B 南	1,330		7			B 南	1,330		7			
H3	1,356		10			H3	1,356		10			
H6(Ⅱ)	1,356		24			H6(Ⅱ)	1,356		24			
G6	1,330		38			G6	1,330		38			
G1	1,356		66			G1	1,356		66			
G4 南	1,356		26			G4 南	1,356		26			
G4 北	1,356		6			G4 北	1,356		6			
G5	1,356		17			G5	1,356		17			
計		190	799	50	10	計		190	797	50	10	
※K4 エリアタンクの 30 基を「Ⅱ 2.50 ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設」の測定・確認用タンクと兼用する。 (以下，省略)						※K4 エリアタンクの 30 基を「Ⅱ 2.50 ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設」の測定・確認用タンクと兼用する。 (以下，省略)						雨水回収タンク（J 2， J 3）から J 4ーL 4， J 4ーL 5 タンクへの機能移転に伴う変更

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅱ章 2.36 雨水処理設備等）

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
2. 36 雨水処理設備等 2. 36. 1 基本設計 （中略） 2. 36. 1. 3 設計方針 2. 36. 1. 3. 1 雨水処理設備，貯留設備（タンク），雨水移送用貯留設備（タンク）および関連設備（移送配管，移送ポンプ，雨水ＲＯ濃縮水移送ラインフィルタユニット）の設計方針 （中略） （9）運用に関わる考慮 （中略） また，<u>対象核種を含めて排水基準については，堰内雨水及び雨水処理設備の処理水の詳細な核種分析をもとに平成 27 年度末までに別途見直すこととし，排水基準が確定するまでは，</u>排水時と同様の確認を行い，<u>処理水を</u>構内散水する。 （中略） 2. 36. 1. 5 主要な機器 （中略） 2. 36. 1. 5. 3 雨水移送用貯留設備（タンク） 雨水移送用貯留設備は，汚染水タンクエリアの堰内雨水，排水路ゲートを閉鎖した際に移送した水，構内トレンチ内溜まり水等を受け入れる <u>1 8 基</u>の雨水回収タンクと，必要に応じて処理前の雨水を雨水回収タンクから一時的に受け入れる 5 基の中継タンクで構成する。フランジ型タンク内部の底板については，漏えい防止対策としてフランジ部シーリングやシーリング材による底板全面塗装を行う。既に使用しているフランジ型タンクの内，上記対策が取れないものについては，汚染水タンクと同じ堰内に設置することで漏えい発生時の堰外への溢水を防止する。 また，必要に応じて雨水回収タンクに散水箇所への移送設備を設ける。 ＲＯ濃縮水貯槽※から用途変更するタンク（2. 36. 2. 1. 2（6）タンク型式：溶接型 容量：1, 000m³ が対象）については，ＲＯ濃縮水貯槽との連結管を取り外し，雨水とＲＯ濃縮水等の混水を防止する。 ※Ⅱ-2. 5 汚染水処理設備等 2. 5. 2. 1. 1(<u>39</u>) ＲＯ濃縮水貯槽 （中略） 2. 36. 2 基本仕様 2. 36. 2. 1 主要仕様 （中略） 2. 36. 2. 1. 2 雨水移送用貯留設備（タンク），関連設備（移送配管，移送ポンプ） （中略）	2. 36 雨水処理設備等 2. 36. 1 基本設計 （中略） 2. 36. 1. 3 設計方針 2. 36. 1. 3. 1 雨水処理設備，貯留設備（タンク），雨水移送用貯留設備（タンク）および関連設備（移送配管，移送ポンプ，雨水ＲＯ濃縮水移送ラインフィルタユニット）の設計方針 （中略） （9）運用に関わる考慮 （中略） また，<u>処理水は</u>排水時と同様の確認を行い，構内散水する。 （中略） 2. 36. 1. 5 主要な機器 （中略） 2. 36. 1. 5. 3 雨水移送用貯留設備（タンク） 雨水移送用貯留設備は，汚染水タンクエリアの堰内雨水，排水路ゲートを閉鎖した際に移送した水<u>を受け入れる 1 8 基の雨水回収タンク</u>，構内トレンチ内溜まり水等を受け入れる <u>G 3 西</u>の雨水回収タンク（<u>1 8 基のうちの 1 基</u>）と，必要に応じて処理前の雨水を雨水回収タンクから一時的に受け入れる 5 基の中継タンクで構成する。フランジ型タンク内部の底板については，漏えい防止対策としてフランジ部シーリングやシーリング材による底板全面塗装を行う。既に使用しているフランジ型タンクの内，上記対策が取れないものについては，汚染水タンクと同じ堰内に設置することで漏えい発生時の堰外への溢水を防止する。 また，必要に応じて雨水回収タンクに散水箇所への移送設備を設ける。 ＲＯ濃縮水貯槽※<u>1</u>から用途変更するタンク（2. 36. 2. 1. 2（6）タンク型式：溶接型 容量：1, 000m³ が対象）については，ＲＯ濃縮水貯槽との連結管を取り外し，雨水とＲＯ濃縮水等の混水を防止する。 <u>多核種処理水貯槽※2 から用途変更するタンク（2. 36. 2. 1. 2（5）タンク型式：溶接型 容量：1, 160m³ が対象）についても，多核種処理水貯槽との連結管を取り外し，雨水と多核種処理水の混水を防止する。</u> ※<u>1</u> Ⅱ-2. 5 汚染水処理設備等 2. 5. 2. 1. 1(<u>28</u>) ＲＯ濃縮水貯槽 ※<u>2</u> <u>Ⅱ-2. 5 汚染水処理設備等 2. 5. 2. 1. 1(32)多核種処理水貯槽</u> （中略） 2. 36. 2 基本仕様 2. 36. 2. 1 主要仕様 （中略） 2. 36. 2. 1. 2 雨水移送用貯留設備（タンク），関連設備（移送配管，移送ポンプ） （中略）	記載の適正化 雨水回収タンク（J 2，J 3）から J 4－L 4，J 4－L 5 タンクへの機能移転に伴う追記及び記載の適正化

変 更 前		変 更 後		変 更 理 由
(5) 雨水回収タンク	タンク型式（名称）	フランジ型（J 6－1～6）	フランジ型（J 6－1～6）	
	合計容量（公称）	3600m ³	3600m ³	
	基 数	6 基	6 基	
	容 量（単基）	600m ³ ／基	600m ³ ／基	
	材 料（胴板）	SS400	SS400	
	寸 法	天板直径	9004mm	
		高 さ	10072mm	
		厚 さ	底板 12mm，胴板 12mm	
	タンク型式（名称）	溶接型（H 1－1，H 1－2，J 1）	溶接型（H 1－1，H 1－2，J 1）	
	合計容量（公称）	3600m ³	3600m ³	
	基 数	3 基	3 基	雨水回収タンク（J 2，J 3）から J 4－L 4，J 4－L 5 タンクへの機能移転に伴う変更
	容 量（単基）	1200m ³ ／基	1200m ³ ／基	
	材 料（胴板）	SM400A	SM400A	
	寸 法	内 径	12000mm	
		高 さ	12012mm	
		厚 さ	底板 12mm，胴板 12mm	
	タンク型式（名称）	溶接型（K）	溶接型（K， <u>J 4－L 4，J 4－L 5</u> ）	
	合計容量（公称）	<u>1160</u> m ³	<u>3480</u> m ³	
	基 数	<u>1</u> 基	<u>3</u> 基	
	容 量（単基）	1160m ³ ／基	1160m ³ ／基	
	材 料（胴板）	SM400C	SM400C	雨水回収タンク（J 2，J 3）から J 4－L 4，J 4－L 5 タンクへの機能移転に伴う変更
	寸 法	内 径	11000mm	
		高 さ	13000mm	
		厚 さ	底板 12mm，胴板 12mm	
	タンク型式（名称）	溶接型（H 6（I）， <u>J 2，J 3</u> ）	溶接型（H 6（I））	
	合計容量（公称）	<u>2100</u> m ³	<u>700</u> m ³	
	基 数	<u>3</u> 基	<u>1</u> 基	
	容 量（単基）	700m ³ ／基	700m ³ ／基	
	材 料（胴板）	SM400A	SM400A	
	寸 法	内 径	9000mm	
		高 さ	12012mm	
		厚 さ	底板 12mm，胴板 12mm	
	タンク型式（名称）	溶接型（B）	溶接型（B）	
	合計容量（公称）	1330m ³	1330m ³	
	基 数	1 基	1 基	
	容 量（単基）	1330m ³ ／基	1330m ³ ／基	
	材 料（胴板）	SM400C	SM400C	
	寸 法	内 径	11000mm	
		高 さ	14900mm	
		厚 さ	底板 12mm，胴板 15mm	
(中略)			(中略)	
		添付資料－ 1		添付資料－ 1
(中略)			(中略)	

変更前

全体概略図(3/3)

注記) 点線は申請範囲外
必要に応じて雨水回収タンクに排水設備を設ける

変更後

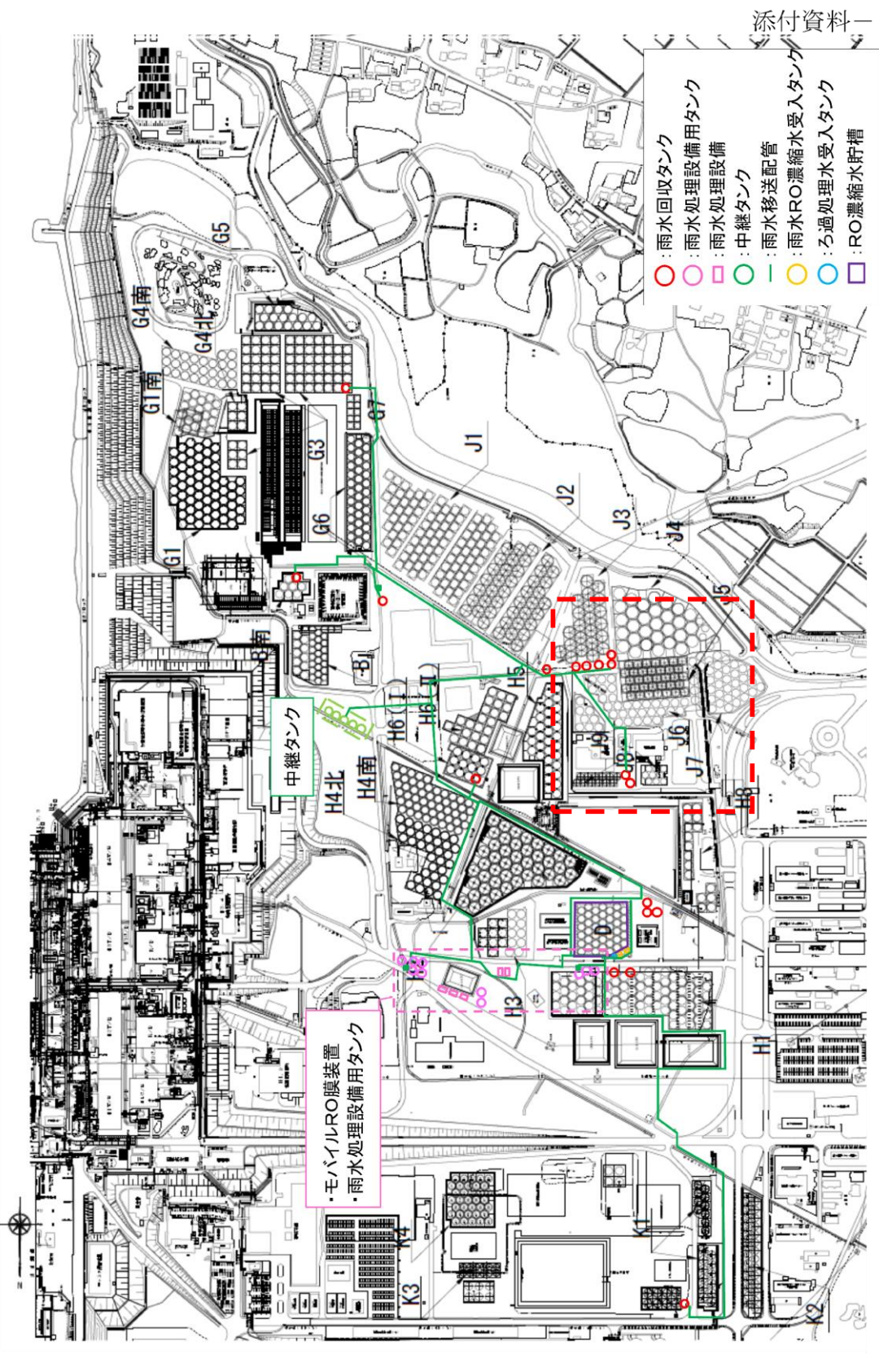
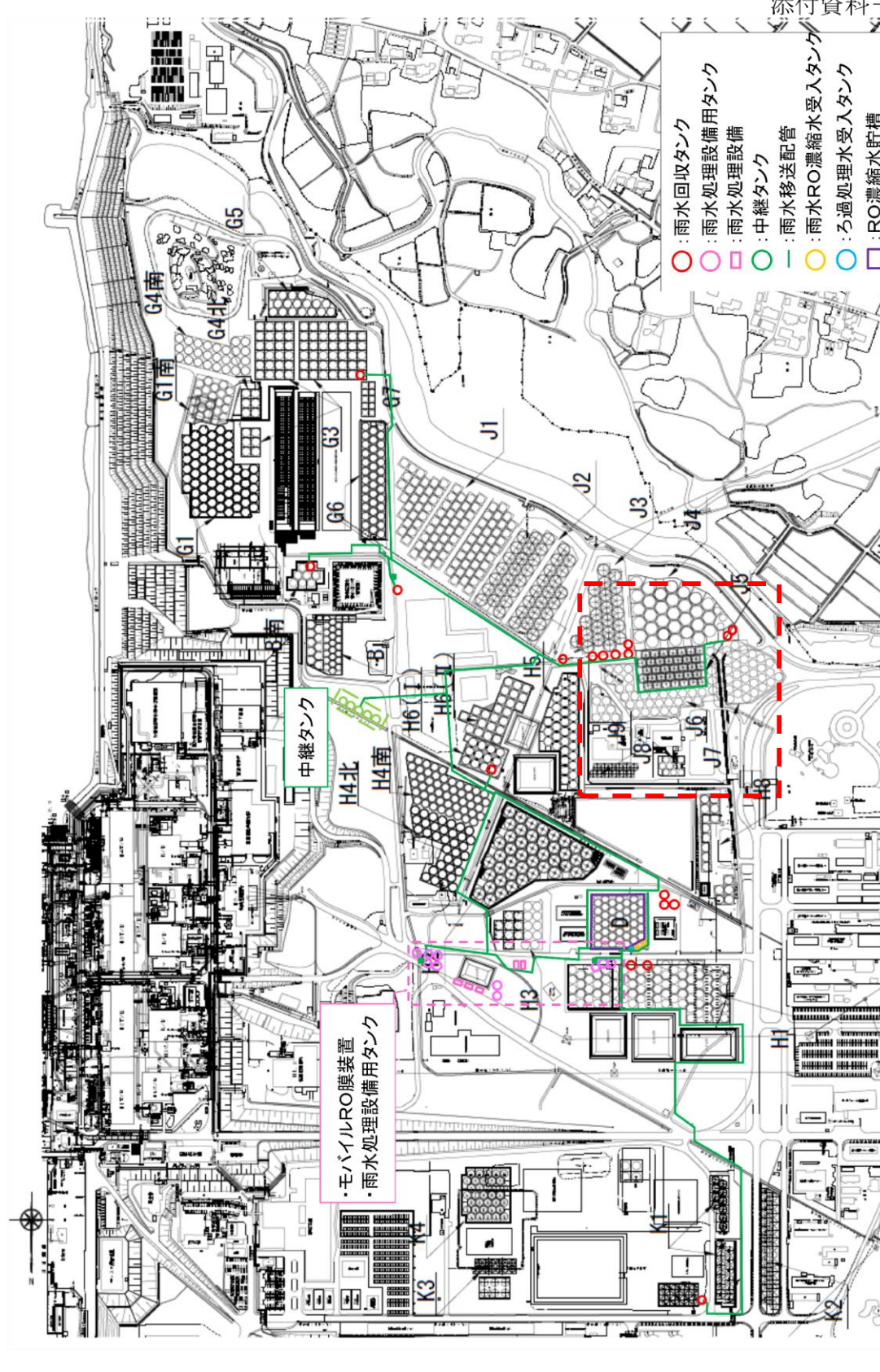
全体概略図(3/3)

注記) 点線は申請範囲外
必要に応じて雨水回収タンクに排水設備を設ける

変更理由

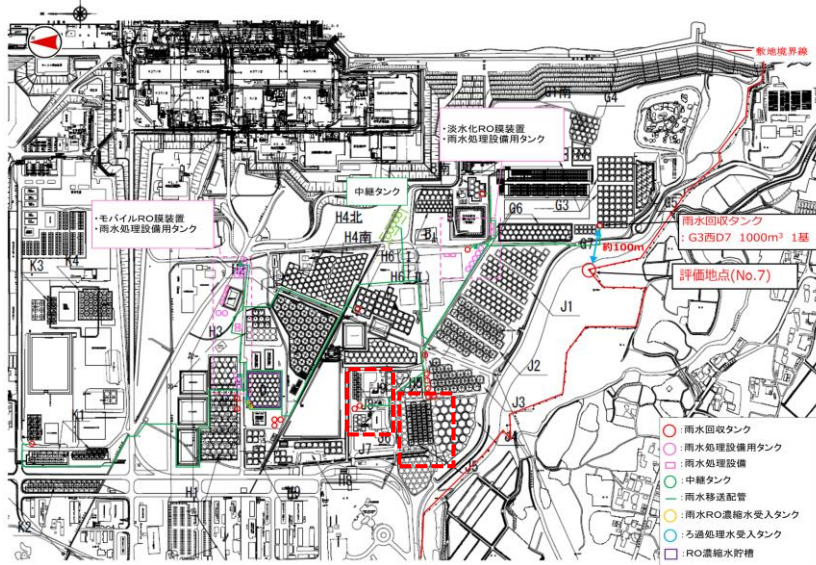
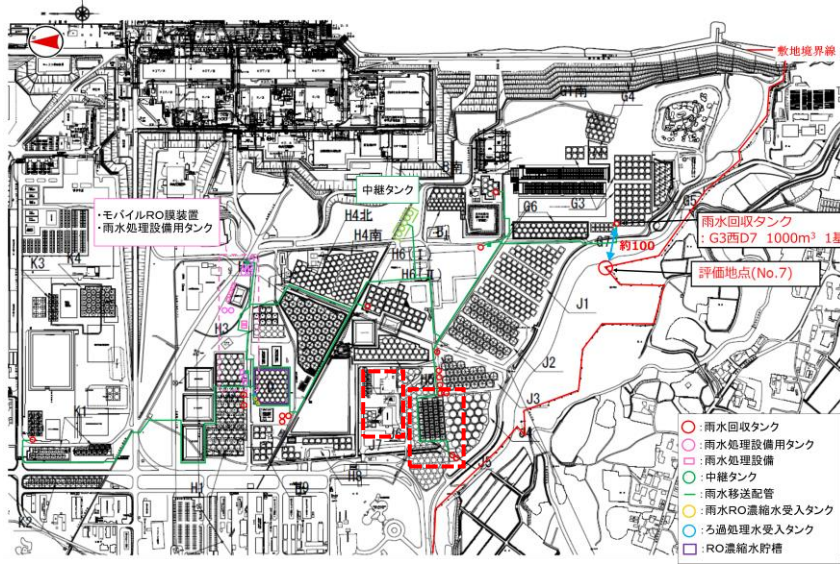
雨水回収タンク (J 2 , J 3)
から J 4 - L 4 , J 4 - L 5 タ
ンクへの機能移転に伴う変更

記載の適正化

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
(中略) 	(中略) 	雨水回収タンク（J2，J3）からJ4-L4，J4-L5タンクへの機能移転に伴う変更

変 更 前					変 更 後					変 更 理 由				
添付資料－ 3					添付資料－ 3					雨水回収タンク（ J 2， J 3 ） から J 4－L 4， J 4－L 5 タ ンクへの機能移転に伴う変更				
雨水処理設備等の構造強度・耐震性					雨水処理設備等の構造強度・耐震性									
(中略)					(中略)									
2. 評価結果					2. 評価結果									
(中略)					(中略)									
2.2 タンク					2.2 タンク									
(中略)					(中略)									
表－ 2 円筒型タンク板厚評価結果					表－ 2 円筒型タンク板厚評価結果									
機器名称			評価部位	必要肉厚 [mm]	肉厚 [mm]	機器名称			評価部位	必要肉厚 [mm]	肉厚 [mm]			
モバイルRO膜装置 雨水受入タンク		600m³容量	タンク板厚	4.5	9.0	モバイルRO膜装置 雨水受入タンク		600m³容量	タンク板厚	4.5	9.0			
		600m³容量	タンク板厚	4.5	12.0			600m³容量	タンク板厚	4.5	12.0			
		1200m³容量	タンク板厚	10.9	12.0			1200m³容量	タンク板厚	10.9	12.0			
モバイルRO膜装置 処理水タンク		600m³容量	タンク板厚	4.5	9.0	モバイルRO膜装置 処理水タンク		600m³容量	タンク板厚	4.5	9.0			
		600m³容量	タンク板厚	4.5	12.0			600m³容量	タンク板厚	4.5	12.0			
		700m³容量	タンク板厚	8.2	12.0			700m³容量	タンク板厚	8.2	12.0			
雨水RO濃縮水受入タンク		18m³容量	タンク板厚	3.0	9.0	雨水RO濃縮水受入タンク		18m³容量	タンク板厚	3.0	9.0			
ろ過処理水受入タンク		10m³容量	タンク板厚	3.0	9.0	ろ過処理水受入タンク		10m³容量	タンク板厚	3.0	9.0			
雨水回収タンク	H9-1～3	600m³容量	タンク板厚	4.5	9.0	雨水回収タンク	H9-1～3	600m³容量	タンク板厚	4.5	9.0			
	J6-1～6	600m³容量	タンク板厚	4.5	12.0		J6-1～6	600m³容量	タンク板厚	4.5	12.0			
	H6(I)， J2， J3	700m³容量	タンク板厚	8.2	12.0		H6(I)	700m³容量	タンク板厚	8.2	12.0			
	G3 西-D7	1000m³容量	タンク板厚	9.6	12.0		G3 西-D7	1000m³容量	タンク板厚	9.6	12.0			
	K	1160m³容量	タンク板厚	11.7	12.0		K， J4-L4， J4-L5	1160m³容量	タンク板厚	11.7	12.0			
	H1-1， H1-2， J1	1200m³容量	タンク板厚	10.9	12.0		H1-1， H1-2， J1	1200m³容量	タンク板厚	10.9	12.0			
	B	1330m³容量	タンク板厚	11.5	15.0		B	1330m³容量	タンク板厚	11.5	15.0			
中継タンク		1160m³容量	タンク板厚	11.7	12.0	中継タンク		1160m³容量	タンク板厚	11.7	12.0			
(中略)					(中略)									

変 更 前								変 更 後								変 更 理 由	
表－３　円筒型タンク耐震評価結果								表－３　円筒型タンク耐震評価結果								雨水回収タンク（Ｊ２，Ｊ３）からＪ４－Ｌ４，Ｊ４－Ｌ５タンクへの機能移転に伴う変更	
機器名称		評価 部位	評価 項目	水平 震度	算出値	許容値	単位	機器名称		評価 部位	評価 項目	水平 震度	算出値	許容値	単位		
モバイルＲＯ膜装置 雨水受入タンク	600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11829	29426	kN・m	モバイルＲＯ膜装置 雨水受入タンク	600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11829	29426	kN・m		
	600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11814	29389	kN・m		600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11814	29389	kN・m		
	1200m ³ 容量	本体	転倒	0.36	30466	85608	kN・m		1200m ³ 容量	本体	転倒	0.36	30466	85608	kN・m		
モバイルＲＯ膜装置 処理水タンク	600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11829	29426	kN・m	モバイルＲＯ膜装置 処理水タンク	600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11829	29426	kN・m		
	600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11814	29389	kN・m		600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11814	29389	kN・m		
	700m ³ 容量	本体	転倒	0.36	17380	36802	kN・m		700m ³ 容量	本体	転倒	0.36	17380	36802	kN・m		
雨水ＲＯ濃縮水受入タンク	18m ³ 容量	本体	転倒	0.36	169	327	kN・m	雨水ＲＯ濃縮水受入タンク	18m ³ 容量	本体	転倒	0.36	169	327	kN・m		
ろ過処理水受入タンク	10m ³ 容量	本体	転倒	0.36	65	200	kN・m	ろ過処理水受入タンク	10m ³ 容量	本体	転倒	0.36	65	200	kN・m		
雨水回収 タンク	H9-1～3	600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11829	29426	kN・m	雨水回収 タンク	H9-1～3	600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11829	29426	kN・m
	J6-1～6	600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11814	29389	kN・m		J6-1～6	600m ³ 容量	本体	転倒	0.36	11814	29389	kN・m
	H6（Ⅰ）， <u>J2, J3</u>	700m ³ 容量	本体	転倒	0.36	17380	36802	kN・m		H6（Ⅰ）	700m ³ 容量	本体	転倒	0.36	17380	36802	kN・m
	G3 西-D7	1000m ³ 容量	本体	転倒	0.36	23265	73597	kN・m		G3 西-D7	1000m ³ 容量	本体	転倒	0.36	23265	73597	kN・m
	K	1160m ³ 容量	本体	転倒	0.36	29957	71204	kN・m		K, <u>J4-L4, J4-L5</u>	1160m ³ 容量	本体	転倒	0.36	29957	71204	kN・m
	H1-1, H1-2, J1	1200m ³ 容量	本体	転倒	0.36	30333	78027	kN・m		H1-1, H1-2, J1	1200m ³ 容量	本体	転倒	0.36	30333	78027	kN・m
	B	1330m ³ 容量	本体	転倒	0.36	39563	80905	kN・m		B	1330m ³ 容量	本体	転倒	0.36	39563	80905	kN・m
中継タンク	1160m ³ 容量	本体	転倒	0.36	29957	71204	kN・m	中継タンク	1160m ³ 容量	本体	転倒	0.36	29957	71204	kN・m		
(中略)								(中略)									

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由																								
添付資料－ 4	添付資料－ 4																									
雨水処理設備等の具体的な安全確保策	雨水処理設備等の具体的な安全確保策																									
(中略)	(中略)																									
1. 放射性物質漏えい防止等に対する考慮	1. 放射性物質漏えい防止等に対する考慮																									
(中略)	(中略)																									
(3)放射線遮へい・被ばく低減に対する考慮	(3)放射線遮へい・被ばく低減に対する考慮																									
(中略)	(中略)																									
・雨水処理設備等のうち、敷地境界に最も <u>近い</u> 機器は、雨水回収タンク：G3 西 D7 雨水タンクで、評価点 No.7 より約 100m である（図－ 3）。	・雨水処理設備等のうち、敷地境界に最も <u>影響がある</u> 機器は、雨水回収タンク：G3 西 D7 雨水タンクで、評価点 No.7 より約 100m である（図－ 3）。	雨水処理設備等の敷地境界線量評価見直しに伴う変更																								
表－ 3 雨水処理設備敷地境界の評価条件	表－ 3 雨水処理設備敷地境界の評価条件																									
<table><tr><td>核種</td><td>Cs-134</td><td>Cs-137</td><td>Sr-90（全β）</td><td>H-3</td><td>合計</td></tr><tr><td>濃度[Bq/L]</td><td>100</td><td>200</td><td>99,700</td><td>0</td><td>100,000</td></tr></table>	核種	Cs-134	Cs-137	Sr-90（全β）	H-3	合計	濃度[Bq/L]	100	200	99,700	0	100,000	<table><tr><td>核種</td><td>Cs-134</td><td>Cs-137</td><td>Sr-90（全β）</td><td>H-3</td><td>合計</td></tr><tr><td>濃度[Bq/L]</td><td>100</td><td>200</td><td>99,700</td><td>0</td><td>100,000</td></tr></table>	核種	Cs-134	Cs-137	Sr-90（全β）	H-3	合計	濃度[Bq/L]	100	200	99,700	0	100,000	
核種	Cs-134	Cs-137	Sr-90（全β）	H-3	合計																					
濃度[Bq/L]	100	200	99,700	0	100,000																					
核種	Cs-134	Cs-137	Sr-90（全β）	H-3	合計																					
濃度[Bq/L]	100	200	99,700	0	100,000																					
																										
図－ 3 敷地境界に最も <u>近い</u> 雨水タンクと評価点の位置関係	図－ 3 敷地境界に最も <u>影響がある</u> 雨水タンクと評価点の位置関係																									
評価の結果、最寄りの線量評価点【No. 7】における直接線・スカイシャイン線の評価結果は <u>10⁻³ mSv/y 未満</u> であることから、敷地境界線量に及ぼす影響は小さい。	評価の結果、最寄りの線量評価点【No. 7】における直接線・スカイシャイン線の評価結果は <u>9.77 ×10⁻⁴mSv/年</u> であるが、敷地境界における最大評価地点への影響は小さい。																									
(中略)	(中略)																									

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由																												
添付資料－ 5 雨水処理設備等に係る確認事項 (中略) 別表－ 1 各タンク設置エリアの基礎外周堰の高さ <table><tr><th>タンク名称</th><th>基礎外周堰高さ (mm)</th></tr><tr><td>H 6 （ I ） 雨水回収タンク</td><td>1080 以上</td></tr><tr><td>B 雨水回収タンク※3</td><td>① 1917 以上 ② 1700 以上 1917 未満 ③ 1500 以上 1700 未満</td></tr><tr><td><u>J 2, J 3</u>雨水回収タンク</td><td><u>1000 ±50</u></td></tr><tr><td>モバイルRO膜装置雨水受入タンク</td><td>1000 ±50</td></tr><tr><td>モバイルRO膜装置処理水タンク※4</td><td>① 959 以上 ② 870 以上 959 未満 ③ 770 以上 870 未満</td></tr><tr><td>雨水RO濃縮水受入タンク ろ過処理水受入タンク</td><td>998 以上</td></tr></table> ※3：別図-1 参照 ※4：別図-2 参照 (中略)	タンク名称	基礎外周堰高さ (mm)	H 6 （ I ） 雨水回収タンク	1080 以上	B 雨水回収タンク※3	① 1917 以上 ② 1700 以上 1917 未満 ③ 1500 以上 1700 未満	<u>J 2, J 3</u> 雨水回収タンク	<u>1000 ±50</u>	モバイルRO膜装置雨水受入タンク	1000 ±50	モバイルRO膜装置処理水タンク※4	① 959 以上 ② 870 以上 959 未満 ③ 770 以上 870 未満	雨水RO濃縮水受入タンク ろ過処理水受入タンク	998 以上	添付資料－ 5 雨水処理設備等に係る確認事項 (中略) 別表－ 1 各タンク設置エリアの基礎外周堰の高さ <table><tr><th>タンク名称</th><th>基礎外周堰高さ (mm)</th></tr><tr><td>H 6 （ I ） 雨水回収タンク</td><td>1080 以上</td></tr><tr><td>B 雨水回収タンク※3</td><td>① 1917 以上 ② 1700 以上 1917 未満 ③ 1500 以上 1700 未満</td></tr><tr><td><u>J 4－L 4, J 4－L 5</u>雨水回収タンク</td><td><u>1095 以上</u></td></tr><tr><td>モバイルRO膜装置雨水受入タンク</td><td>1000 ±50</td></tr><tr><td>モバイルRO膜装置処理水タンク※4</td><td>① 959 以上 ② 870 以上 959 未満 ③ 770 以上 870 未満</td></tr><tr><td>雨水RO濃縮水受入タンク ろ過処理水受入タンク</td><td>998 以上</td></tr></table> ※3：別図-1 参照 ※4：別図-2 参照 (中略)	タンク名称	基礎外周堰高さ (mm)	H 6 （ I ） 雨水回収タンク	1080 以上	B 雨水回収タンク※3	① 1917 以上 ② 1700 以上 1917 未満 ③ 1500 以上 1700 未満	<u>J 4－L 4, J 4－L 5</u> 雨水回収タンク	<u>1095 以上</u>	モバイルRO膜装置雨水受入タンク	1000 ±50	モバイルRO膜装置処理水タンク※4	① 959 以上 ② 870 以上 959 未満 ③ 770 以上 870 未満	雨水RO濃縮水受入タンク ろ過処理水受入タンク	998 以上	雨水回収タンク（ J 2, J 3 ） から J 4－L 4, J 4－L 5 タ ンクへの機能移転に伴う変更
タンク名称	基礎外周堰高さ (mm)																													
H 6 （ I ） 雨水回収タンク	1080 以上																													
B 雨水回収タンク※3	① 1917 以上 ② 1700 以上 1917 未満 ③ 1500 以上 1700 未満																													
<u>J 2, J 3</u> 雨水回収タンク	<u>1000 ±50</u>																													
モバイルRO膜装置雨水受入タンク	1000 ±50																													
モバイルRO膜装置処理水タンク※4	① 959 以上 ② 870 以上 959 未満 ③ 770 以上 870 未満																													
雨水RO濃縮水受入タンク ろ過処理水受入タンク	998 以上																													
タンク名称	基礎外周堰高さ (mm)																													
H 6 （ I ） 雨水回収タンク	1080 以上																													
B 雨水回収タンク※3	① 1917 以上 ② 1700 以上 1917 未満 ③ 1500 以上 1700 未満																													
<u>J 4－L 4, J 4－L 5</u> 雨水回収タンク	<u>1095 以上</u>																													
モバイルRO膜装置雨水受入タンク	1000 ±50																													
モバイルRO膜装置処理水タンク※4	① 959 以上 ② 870 以上 959 未満 ③ 770 以上 870 未満																													
雨水RO濃縮水受入タンク ろ過処理水受入タンク	998 以上																													

変 更 前								変 更 後								変 更 理 由			
参考資料－ 3								参考資料－ 3								雨水回収タンク（ J 2， J 3 ） から J 4－L 4， J 4－L 5 タ ンクへの機能移転に伴う変更			
雨水処理設備等の円筒型タンクに関する計算書								雨水処理設備等の円筒型タンクに関する計算書											
（中略）								（中略）											
1. 評価								1. 評価											
1. 1. 胴の応力評価								1. 1. 胴の応力評価											
（中略）								（中略）											
表－ 1 円筒型タンク応力評価結果								表－ 1 円筒型タンク応力評価結果											
機器名称		部材	材料	水平方向 設計震度	応力	算出応力 [MPa]	許容応力 [MPa]	機器名称		部材	材料	水平方向 設計震度	応力	算出応力 [MPa]	許容応力 [MPa]				
モバイル R O 膜装置雨 水受入タンク	600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	58	237	モバイル R O 膜装置雨 水受入タンク	600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	58	237				
	600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	44	237		600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	44	237				
	1200m ³ 容量	胴板	SM400A	0. 36	一次一般膜	70	236		1200m ³ 容量	胴板	SM400A	0. 36	一次一般膜	70	236				
モバイル R O 膜装置処 理水タンク	600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	58	237	モバイル R O 膜装置処 理水タンク	600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	58	237				
	600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	44	237		600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	44	237				
	700m ³ 容量	胴板	SM400A	0. 36	一次一般膜	54	236		700m ³ 容量	胴板	SM400A	0. 36	一次一般膜	54	236				
雨水 R O 濃縮水 受入タンク		18m ³ 容量	胴板	SM400C	0. 36	一次一般膜	7	240	雨水 R O 濃縮水 受入タンク		18m ³ 容量	胴板	SM400C	0. 36	一次一般膜			7	240
ろ過処理水 受入タンク		10m ³ 容量	胴板	SM400C	0. 36	一次一般膜	4	240	ろ過処理水 受入タンク		10m ³ 容量	胴板	SM400C	0. 36	一次一般膜			4	240
雨水回 収タン ク	H9-1～3	600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	58	237	雨水回 収タン ク	H9-1～3	600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	58	237		
	J6-1～6	600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	44	237		J6-1～6	600m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	44	237		
	H6 (I)， <u>J2， J3</u>	700m ³ 容量	胴板	SM400A	0. 36	一次一般膜	54	236		H6 (I)	700m ³ 容量	胴板	SM400A	0. 36	一次一般膜	54	236		
	G3 西-D7	1000m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	61	154		G3 西-D7	1000m ³ 容量	胴板	SS400	0. 36	一次一般膜	61	154		
	K	1160m ³ 容量	胴板	SM400C	0. 36	一次一般膜	70	142		K， <u>J4-L4， J4-L5</u>	1160m ³ 容量	胴板	SM400C	0. 36	一次一般膜	70	142		
	H1-1， H1-2， J1	1200m ³ 容量	胴板	SM400A	0. 36	一次一般膜	70	154		H1-1， H1-2， J1	1200m ³ 容量	胴板	SM400A	0. 36	一次一般膜	70	154		
	B	1330m ³ 容量	胴板	SM400C	0. 36	一次一般膜	65	235		B	1330m ³ 容量	胴板	SM400C	0. 36	一次一般膜	65	235		
中継タンク		1160m ³ 容量	胴板	SM400C	0. 36	一次一般膜	70	142	中継タンク		1160m ³ 容量	胴板	SM400C	0. 36	一次一般膜	70	142		
（中略）								（中略）											

変 更 前						変 更 後						変 更 理 由			
表ー 2 円筒型タンク座屈評価						表ー 2 円筒型タンク座屈評価						雨水回収タンク（J 2，J 3） から J 4－L 4，J 4－L 5 タ ンクへの機能移転に伴う変更			
機器名称		部材	材料	水平方向 設計震度	座屈評価結果	機器名称		部材	材料	水平方向 設計震度	座屈評価結果				
モバイルRO膜装置 雨水受入タンク	600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.30 < 1	モバイルRO膜装置 雨水受入タンク	600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.30 < 1				
	600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.23 < 1		600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.23 < 1				
	1200m ³ 容量	胴板	SM400A	0.36	0.35 < 1		1200m ³ 容量	胴板	SM400A	0.36	0.35 < 1				
モバイルRO膜装置 処理水タンク	600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.30 < 1	モバイルRO膜装置 処理水タンク	600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.30 < 1				
	600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.23 < 1		600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.23 < 1				
	700m ³ 容量	胴板	SM400A	0.36	0.11 < 1		700m ³ 容量	胴板	SM400A	0.36	0.11 < 1				
雨水RO濃縮水受入タンク		18m ³ 容量	胴板	SM400C	0.36	0.03 < 1	雨水RO濃縮水受入タンク		18m ³ 容量	胴板	SM400C			0.36	0.03 < 1
ろ過処理水受入タンク		10m ³ 容量	胴板	SM400C	0.36	0.01 < 1	ろ過処理水受入タンク		10m ³ 容量	胴板	SM400C			0.36	0.01 < 1
雨水回収 タンク	H9-1～3	600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.30 < 1	雨水回収 タンク	H9-1～3	600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.30 < 1		
	J6-1～6	600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.23 < 1		J6-1～6	600m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.23 < 1		
	H6(I)， <u>J2, J3</u>	700m ³ 容量	胴板	SM400A	0.36	0.11 < 1		H6(I)	700m ³ 容量	胴板	SM400A	0.36	0.11 < 1		
	G3 西-D7	1000m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.27 < 1		G3 西-D7	1000m ³ 容量	胴板	SS400	0.36	0.27 < 1		
	K	1160m ³ 容量	胴板	SM400C	0.36	0.36 < 1		<u>K, J4-L4, J4-L5</u>	1160m ³ 容量	胴板	SM400C	0.36	0.36 < 1		
	H1-1, H1-2, J1	1200m ³ 容量	胴板	SM400A	0.36	0.31 < 1		H1-1, H1-2, J1	1200m ³ 容量	胴板	SM400A	0.36	0.31 < 1		
	B	1330m ³ 容量	胴板	SM400C	0.36	0.27 < 1		B	1330m ³ 容量	胴板	SM400C	0.36	0.27 < 1		
中継タンク		1160m ³ 容量	胴板	SM400C	0.36	0.36 < 1	中継タンク		1160m ³ 容量	胴板	SM400C	0.36	0.36 < 1		
(中略)						(中略)									
1. 2. スロッシング評価						1. 2. スロッシング評価									
(中略)						(中略)									

変 更 前					変 更 後					変 更 理 由		
										雨水回収タンク（J 2，J 3） から J 4－L 4， J 4－L 5 タ ンクへの機能移転に伴う変更		
表－3 円筒型タンクスロッシング評価結果					表－3 円筒型タンクスロッシング評価結果							
機器名称		スロッシング 波高 [mm]	スロッシング時 液位 [mm]	タンク高さ [mm]	機器名称		スロッシング 波高 [mm]	スロッシング時 液位 [mm]	タンク高さ [mm]			
モバイルRO膜装置 雨水受入タンク	600m ³ 容量	654	8,712	10,054	モバイルRO膜装置 雨水受入タンク	600m ³ 容量	654	8,712	10,054			
	600m ³ 容量	653	8,711	10,054		600m ³ 容量	653	8,711	10,054			
	1200m ³ 容量	799	11,410	12,012		1200m ³ 容量	799	11,410	12,012			
モバイルRO膜装置 処理水タンク	600m ³ 容量	654	8,712	10,054	モバイルRO膜装置 処理水タンク	600m ³ 容量	654	8,712	10,054			
	600m ³ 容量	653	8,711	10,054		600m ³ 容量	653	8,711	10,054			
	700m ³ 容量	667	11,677	12,012		700m ³ 容量	667	11,677	12,012			
雨水RO濃縮水受入タンク	18m ³ 容量	449	3,679	3,750	雨水RO濃縮水受入タンク	18m ³ 容量	449	3,679	3,750			
ろ過処理水受入タンク	10m ³ 容量	440	2,240	2,250	ろ過処理水受入タンク	10m ³ 容量	440	2,240	2,250			
雨水回収 タンク	H9-1～3	600m ³ 容量	654	8,712	10,054	雨水回収 タンク	H9-1～3	600m ³ 容量	654		8,712	10,054
	J6-1～6	600m ³ 容量	653	8,711	10,054		J6-1～6	600m ³ 容量	653		8,711	10,054
	H6（I）， <u>J2, J3</u>	700m ³ 容量	667	11,677	12,012		H6（I）	700m ³ 容量	667		11,677	12,012
	G3 西-D7	1000m ³ 容量	802	10,502	10,537		G3 西-D7	1000m ³ 容量	802		10,502	10,537
	K	1160m ³ 容量	702	12,908	13,000		K, <u>J4-L4, J4-L5</u>	1160m ³ 容量	702		12,908	13,000
	H1-1, H1-2, J1	1200m ³ 容量	799	11,410	12,012		H1-1, H1-2, J1	1200m ³ 容量	799		11,410	12,012
	B	1330m ³ 容量	701	14,696	14,900		B	1330m ³ 容量	701		14,696	14,900
中継タンク	1160m ³ 容量	702	12,908	13,000	中継タンク	1160m ³ 容量	702	12,908	13,000			
(以下，省略)					(以下，省略)							

変 更 前			添付資料－ 4		
敷地境界における直接線・スカイシャイン線の評価結果			敷地境界における直接線・スカイシャイン線の評価結果		
敷地境界 評価地点	評価地点 の標高 「m」	敷地内各施設からの 直接線・スカイシャイン線 「単位:mSv/年」	敷地境界 評価地点	評価地点 の標高 「m」	敷地内各施設からの 直接線・スカイシャイン線 「単位:mSv/年」
No.1	T.P.約4	0.06	No.51	T.P.約32	0.02
No.2	T.P.約18	0.11	No.52	T.P.約39	0.04
No.3	T.P.約18	0.10	No.53	T.P.約39	0.16
No.4	T.P.約19	0.18	No.54	T.P.約39	0.17
No.5	T.P.約16	0.29	No.55	T.P.約39	0.04
No.6	T.P.約16	0.29	No.56	T.P.約33	0.01
No.7	T.P.約21	0.51	No.57	T.P.約39	0.02
No.8	T.P.約16	0.30	No.58	T.P.約39	0.04
No.9	T.P.約14	0.16	No.59	T.P.約39	0.09
No.10	T.P.約15	0.09	No.60	T.P.約41	0.05
No.11	T.P.約17	0.17	No.61	T.P.約42	0.03
No.12	T.P.約17	0.13	No.62	T.P.約38	0.02
No.13	T.P.約16	0.13	No.63	T.P.約44	0.05
No.14	T.P.約18	0.13	No.64	T.P.約44	0.07
No.15	T.P.約21	0.11	No.65	T.P.約41	0.14
No.16	T.P.約26	0.10	No.66	T.P.約40	0.53
No.17	T.P.約34	0.14	No.67	T.P.約39	0.30
No.18	T.P.約37	0.09	No.68	T.P.約37	0.42
No.19	T.P.約33	0.03	No.69	T.P.約36	0.26
No.20	T.P.約37	0.04	No.70	T.P.約35	0.54
No.21	T.P.約38	0.03	No.71	T.P.約32	0.55
No.22	T.P.約34	0.02	No.72	T.P.約29	0.48
No.23	T.P.約35	0.02	No.73	T.P.約29	0.23
No.24	T.P.約38	0.03	No.74	T.P.約35	0.11
No.25	T.P.約39	0.03	No.75	T.P.約31	0.08
No.26	T.P.約32	0.02	No.76	T.P.約31	0.12
No.27	T.P.約31	0.02	No.77	T.P.約15	0.41
No.28	T.P.約39	0.04	No.78	T.P.約19	0.49
No.29	T.P.約39	0.12	No.79	T.P.約19	0.32
No.30	T.P.約39	0.13	No.80	T.P.約19	0.12
No.31	T.P.約39	0.04	No.81	T.P.約35	0.24
No.32	T.P.約31	0.01	No.82	T.P.約38	0.34
No.33	T.P.約33	0.01	No.83	T.P.約40	0.21
No.34	T.P.約38	0.02	No.84	T.P.約41	0.10
No.35	T.P.約38	0.02	No.85	T.P.約37	0.05
No.36	T.P.約39	0.06	No.86	T.P.約33	0.06
No.37	T.P.約39	0.13	No.87	T.P.約26	0.08
No.38	T.P.約39	0.13	No.88	T.P.約22	0.16
No.39	T.P.約39	0.04	No.89	T.P.約20	0.34
No.40	T.P.約32	0.01	No.90	T.P.約20	0.47
No.41	T.P.約31	0.02	No.91	T.P.約20	0.31
No.42	T.P.約39	0.04	No.92	T.P.約21	0.47
No.43	T.P.約39	0.12	No.93	T.P.約20	0.49
No.44	T.P.約39	0.11	No.94	T.P.約28	0.37
No.45	T.P.約39	0.04	No.95	T.P.約21	0.25
No.46	T.P.約30	0.02	No.96	T.P.約19	0.14
No.47	T.P.約32	0.01	No.97	T.P.約15	0.06
No.48	T.P.約39	0.03	No.98	T.P.約23	0.08
No.49	T.P.約39	0.03	No.99	T.P.約25	0.03
No.50	T.P.約35	0.02	No.100	T.P.約-1	0.02

(以下、省略)

変 更 後			添付資料－ 4		
敷地境界における直接線・スカイシャイン線の評価結果			敷地境界における直接線・スカイシャイン線の評価結果		
敷地境界 評価地点	評価地点 の標高 「m」	敷地内各施設からの 直接線・スカイシャイン線 「単位:mSv/年」	敷地境界 評価地点	評価地点 の標高 「m」	敷地内各施設からの 直接線・スカイシャイン線 「単位:mSv/年」
No.1	T.P.約4	0.06	No.51	T.P.約32	0.02
No.2	T.P.約18	0.11	No.52	T.P.約39	0.04
No.3	T.P.約18	0.10	No.53	T.P.約39	0.16
No.4	T.P.約19	0.18	No.54	T.P.約39	0.17
No.5	T.P.約16	0.29	No.55	T.P.約39	0.04
No.6	T.P.約16	0.29	No.56	T.P.約33	0.01
No.7	T.P.約21	0.52	No.57	T.P.約39	0.02
No.8	T.P.約16	0.30	No.58	T.P.約39	0.04
No.9	T.P.約14	0.16	No.59	T.P.約39	0.09
No.10	T.P.約15	0.09	No.60	T.P.約41	0.05
No.11	T.P.約17	0.17	No.61	T.P.約42	0.03
No.12	T.P.約17	0.13	No.62	T.P.約38	0.02
No.13	T.P.約16	0.13	No.63	T.P.約44	0.05
No.14	T.P.約18	0.13	No.64	T.P.約44	0.07
No.15	T.P.約21	0.11	No.65	T.P.約41	0.14
No.16	T.P.約26	0.10	No.66	T.P.約40	0.53
No.17	T.P.約34	0.14	No.67	T.P.約39	0.30
No.18	T.P.約37	0.09	No.68	T.P.約37	0.42
No.19	T.P.約33	0.03	No.69	T.P.約36	0.26
No.20	T.P.約37	0.04	No.70	T.P.約35	0.54
No.21	T.P.約38	0.03	No.71	T.P.約32	0.55
No.22	T.P.約34	0.02	No.72	T.P.約29	0.48
No.23	T.P.約35	0.02	No.73	T.P.約29	0.23
No.24	T.P.約38	0.03	No.74	T.P.約35	0.11
No.25	T.P.約39	0.03	No.75	T.P.約31	0.08
No.26	T.P.約32	0.02	No.76	T.P.約31	0.12
No.27	T.P.約31	0.02	No.77	T.P.約15	0.41
No.28	T.P.約39	0.04	No.78	T.P.約19	0.49
No.29	T.P.約39	0.12	No.79	T.P.約19	0.32
No.30	T.P.約39	0.13	No.80	T.P.約19	0.12
No.31	T.P.約39	0.04	No.81	T.P.約35	0.24
No.32	T.P.約31	0.01	No.82	T.P.約38	0.34
No.33	T.P.約33	0.01	No.83	T.P.約40	0.21
No.34	T.P.約38	0.02	No.84	T.P.約41	0.10
No.35	T.P.約38	0.02	No.85	T.P.約37	0.05
No.36	T.P.約39	0.06	No.86	T.P.約33	0.06
No.37	T.P.約39	0.13	No.87	T.P.約26	0.08
No.38	T.P.約39	0.13	No.88	T.P.約22	0.16
No.39	T.P.約39	0.04	No.89	T.P.約20	0.34
No.40	T.P.約32	0.01	No.90	T.P.約20	0.47
No.41	T.P.約31	0.02	No.91	T.P.約20	0.31
No.42	T.P.約39	0.04	No.92	T.P.約21	0.47
No.43	T.P.約39	0.12	No.93	T.P.約20	0.49
No.44	T.P.約39	0.11	No.94	T.P.約28	0.37
No.45	T.P.約39	0.04	No.95	T.P.約21	0.25
No.46	T.P.約30	0.02	No.96	T.P.約19	0.14
No.47	T.P.約32	0.01	No.97	T.P.約15	0.06
No.48	T.P.約39	0.03	No.98	T.P.約23	0.08
No.49	T.P.約39	0.03	No.99	T.P.約25	0.03
No.50	T.P.約35	0.02	No.100	T.P.約-1	0.02

(以下、省略)

| 雨水処理設備等の敷地境界線 量評価見直しに伴う変更 | | | | | |
|

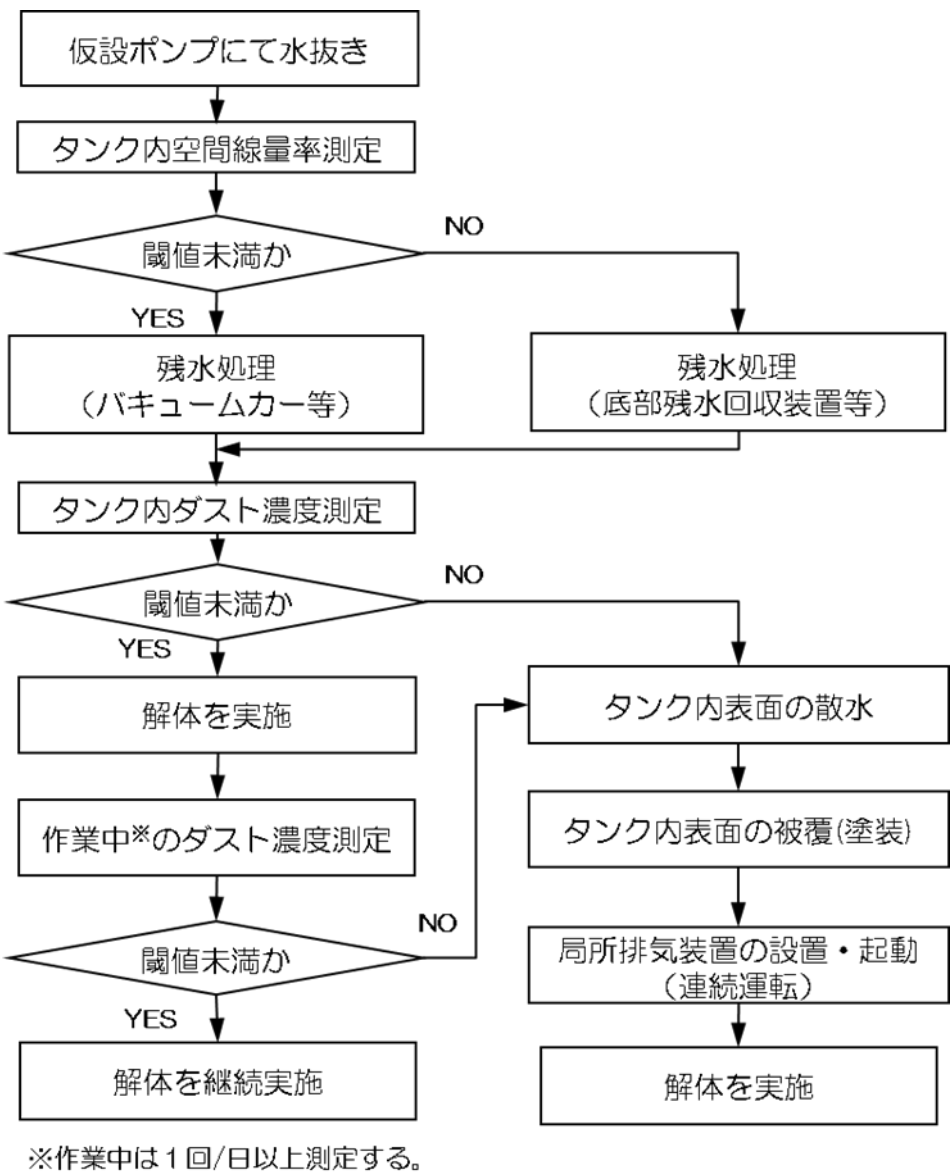
福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅲ章 第３編 ６ 特定原子力施設の設備，機器の解体撤去に係る補足説明）		
変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
6 特定原子力施設の設備，機器の解体撤去に係る補足説明 （中略） 添付資料－２０ 雨水処理設備等の解体・撤去の方法について 雨水処理設備等の解体・撤去に伴い，核燃料物質その他の放射性物質に汚染されている可能性のあるタンク，ポンプ，移送配管の解体・撤去作業※の方法について定める。 ※実施計画上の撤去作業には仮置き作業を含む 1. 雨水処理設備等 a. タンク 雨水回収タンク（フランジタンク）は，受入している堰内雨水を雨水処理設備により処理した後に，必要に応じて汚染拡大防止を図った上で解体・切断し，表面線量率を測定した上で適切な一時保管エリアで保管する。 （中略） 1.2. 解体作業時の汚染拡大防止策 解体作業時における汚染拡大防止対策の可否については，解体前にタンク内部のダスト濃度測定を行い，閾値（5×10^{-5}Bq/cm³）を超過する場合は，汚染拡大防止を図った上で作業を実施する。 解体作業手順の概要を図－１に示す。 a※. タンク上部のマンホールからタンク内表面に散水し，表面の汚染をできるだけ洗い流すことにより，放射性物質の飛散のリスクを低減する。 b※. 局所排気装置を設置し，タンク下部のマンホールからタンク内部の空気を吸引し，フィルタでろ過することにより，タンク上部から放射性物質が飛散するリスクを抑制する。 c. タンク解体片は，地面に降ろした後，周辺の汚染レベルを上昇させないように養生等を実施し運搬する。 d. 最下段の側板及び底板の解体は，残水が完全に除去されていることを確認した後に着手する。 e. 解体作業の期間中は，タンク上部の空気中の放射性物質濃度を定期的に確認する。なお，測定値が閾値を超過している場合は，作業を中断し，追加散水や集塵の強化等の対策を実施し，測定値が閾値未満に戻ったことを確認してから再開する。 f. 追加散水や集塵の強化等の対策を施しても測定値が閾値未満に戻らない場合には，作業を中止し，タンク上部に仮天板を取り付ける。その後，原因を調査し，必要に応じて対策を施した上で再開する。 ※ a, bについてはタンク内部のダスト濃度が閾値を超えた場合にのみ実施する。 1.3. 減容作業・保管時の汚染拡大防止策 「Ⅲ 特定原子力施設の保安 ６ 特定原子力施設の設備，機器の解体撤去に係る補足説明添付資料－４ 中低濃度タンク及び高濃度滞留水受タンクの解体・撤去の方法について <u>5.3.</u>減容作業・保管時の汚染拡大防止策」に同じ。 1.4. 作業員の被ばく低減 （中略）	6 特定原子力施設の設備，機器の解体撤去に係る補足説明 （中略） 添付資料－２０ 雨水処理設備等の解体・撤去の方法について 雨水処理設備等の解体・撤去に伴い，核燃料物質その他の放射性物質に汚染されている可能性のあるタンク，ポンプ，移送配管の解体・撤去作業※の方法について定める。 ※実施計画上の撤去作業には仮置き作業を含む 1. 雨水処理設備等 a. タンク 雨水回収タンク（フランジタンク <u>及び溶接タンク</u>）は，受入している堰内雨水を雨水処理設備により処理した後に，必要に応じて汚染拡大防止を図った上で解体・切断し，表面線量率を測定した上で適切な一時保管エリアで保管する。 （中略） 1.2. 解体作業時の汚染拡大防止策 解体作業時における汚染拡大防止対策の可否については，解体前にタンク内部のダスト濃度測定を行い，閾値（5×10^{-5}Bq/cm³）を超過する場合は，汚染拡大防止を図った上で作業を実施する。 解体作業手順の概要を図－１に示す。 a※. タンク上部のマンホールからタンク内表面に散水し，表面の汚染をできるだけ洗い流すことにより，放射性物質の飛散のリスクを低減する。 b※. 局所排気装置を設置し，タンク下部のマンホールからタンク内部の空気を吸引し，フィルタでろ過することにより，タンク上部から放射性物質が飛散するリスクを抑制する。 c. タンク解体片は，地面に降ろした後，周辺の汚染レベルを上昇させないように養生等を実施し運搬する。 d. <u>フランジタンク</u>の最下段の側板及び底板の解体は，残水が完全に除去されていることを確認した後に着手する。 e. 解体作業の期間中は，タンク上部の空気中の放射性物質濃度を定期的に確認する。なお，測定値が閾値を超過している場合は，作業を中断し，追加散水や集塵の強化等の対策を実施し，測定値が閾値未満に戻ったことを確認してから再開する。 f. 追加散水や集塵の強化等の対策を施しても測定値が閾値未満に戻らない場合には，作業を中止し，タンク上部に仮天板を取り付ける。その後，原因を調査し，必要に応じて対策を施した上で再開する。 <u>g. 天蓋・側板・底板の解体は，ガス，プラズマ，重機，回転工具を用いて，実施する。</u> ※ a, bについてはタンク内部のダスト濃度が閾値を超えた場合にのみ実施する。 1.3. 減容作業・保管時の汚染拡大防止策 「Ⅲ 特定原子力施設の保安 ６ 特定原子力施設の設備，機器の解体撤去に係る補足説明添付資料－４ 中低濃度タンク及び高濃度滞留水受タンクの解体・撤去の方法について <u>6.3.</u>減容作業・保管時の汚染拡大防止策」に同じ。 1.4. 作業員の被ばく低減 （中略）	雨水回収タンク（J 2，J 3）撤去に伴う追記 記載の適正化 雨水回収タンク（J 2，J 3）撤去に伴う変更 記載の適正化

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅲ章 第3編 6 特定原子力施設の設備，機器の解体撤去に係る補足説明）		
変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
c. 解体作業中にダスト濃度が万が一上昇した場合に備えて、<u>念のため</u>全面マスクを着用する。ポンプおよび配管の開放作業時においても、全面マスクを着用して作業を実施する。なお、開放作業時におけるダストの舞い上がりは少ないと考えるものの、適宜、空気中の放射性物質濃度を測定し、必要に応じて遮へい、局所排風機、ハウスを設置する。また、機器の取り外しまたは切断時においては、開放端部をゴム質のキャップ等で養生し、作業時の被ばく低減を図る。 （中略） 1. 6. 保管時の安定性評価 「Ⅲ 特定原子力施設の保安 6 特定原子力施設の設備，機器の解体撤去に係る補足説明添付資料－4 中低濃度タンク及び高濃度滞留水受タンクの解体・撤去の方法について <u>5. 8.</u> 保管時の安定性評価」に同じ。 （中略）	c. 解体作業中にダスト濃度が万が一上昇した場合に備えて、<u>必要に応じ</u>全面マスクを着用する。ポンプおよび配管の開放作業時においても、<u>必要に応じて</u>全面マスクを着用して作業を実施する。なお、開放作業時におけるダストの舞い上がりは少ないと考えるものの、適宜、空気中の放射性物質濃度を測定し、必要に応じて遮へい、局所排風機、ハウスを設置する。また、機器の取り外しまたは切断時においては、開放端部をゴム質のキャップ等で養生し、作業時の被ばく低減を図る。 （中略） 1. 6. 保管時の安定性評価 「Ⅲ 特定原子力施設の保安 6 特定原子力施設の設備，機器の解体撤去に係る補足説明添付資料－4 中低濃度タンク及び高濃度滞留水受タンクの解体・撤去の方法について <u>2. 8.</u> 保管時の安定性評価」に同じ。 （中略）	記載の適正化 記載の適正化

変更前

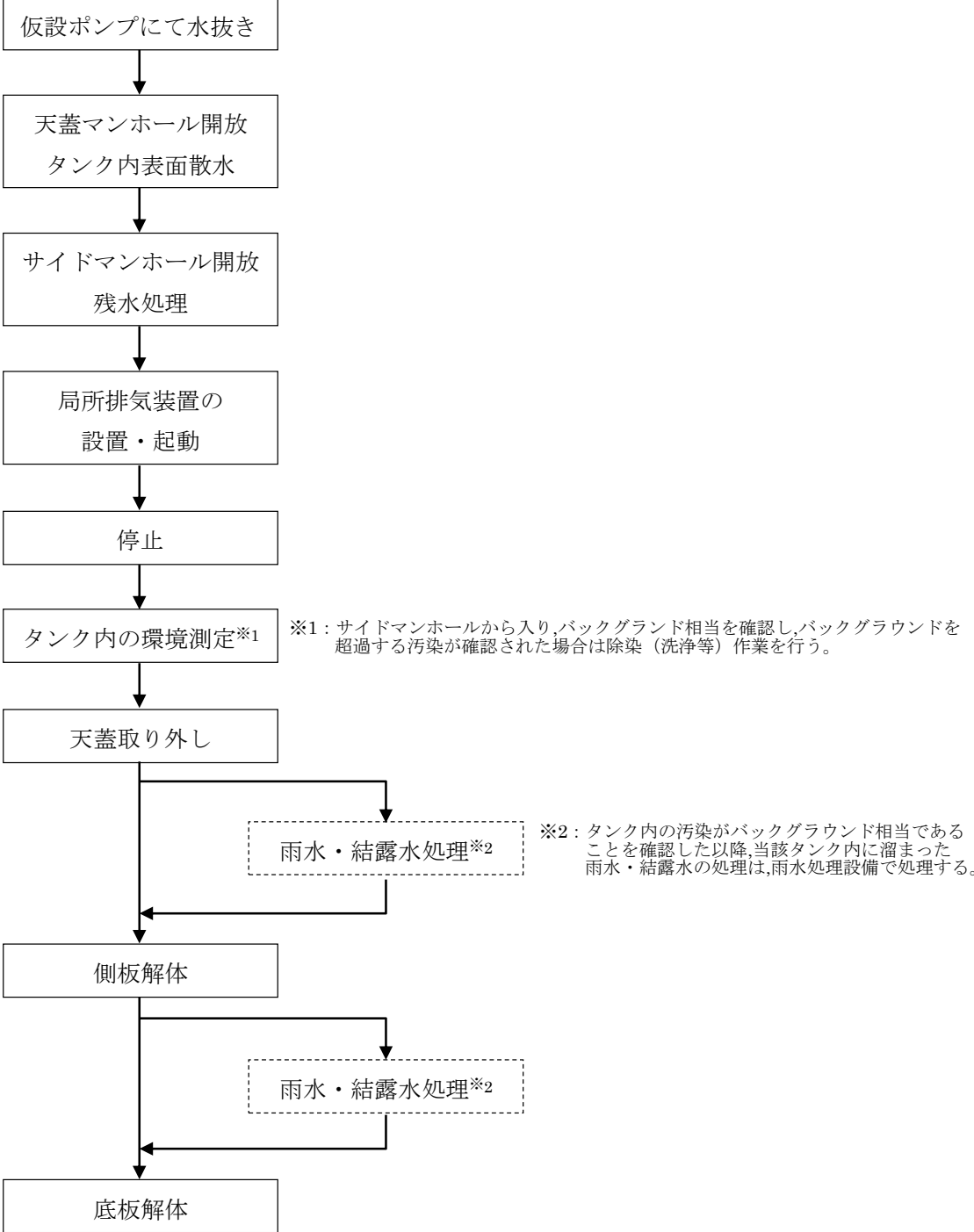
変更後

変更理由



図－1 解体作業のフロー

(以下、省略)



図－1 解体作業のフロー

(以下、省略)

雨水回収タンク（J2，J3）
撤去に伴う変更

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（別冊 1 4 雨水処理設備等に係わる補足説明）

変 更 前										変 更 後										変 更 理 由
I 雨水処理設備等の構造強度・耐震性に係わる補足説明										I 雨水処理設備等の構造強度・耐震性に係わる補足説明										雨水回収タンク（J2，J3）からJ4ーL4，J4ーL5タンクへの機能移転に伴う変更
(中略)										(中略)										
2. タンク										2. タンク										
2.1 構造強度評価										2.1 構造強度評価										
2.1.1 設計条件										2.1.1 設計条件										
(1)板厚評価										(1)板厚評価										
		水頭 H(m)	液体の比重 ρ（k g /m³）	長手継手の 効率 η	最高使用温 度における 材料の許容 引張応力 S(MPa)	胴の内径 Di（m）						水頭 H(m)	液体の比重 ρ（k g /m³）	長手継手の 効率 η	最高使用温度 における材料 の許容引張応 力 S(MPa)	胴の内径 Di（m）				
モバイルRO膜装置 雨水受入タンク																				
モバイルRO膜装置 処理水タンク																				
雨水RO濃縮水受入タンク																				
ろ過処理水受入タンク																				
雨水回収 タンク	H9-1～3																			
	J6-1～6																			
	H6（I）， <u>J2, J3</u>																			
	G3 西-D7																			
	K																			
	H1-1, H1-2, J1																			
	B																			
中継タンク																				
2.2 耐震性評価										2.2 耐震性評価										
2.2.1 転倒評価										2.2.1 転倒評価										
(中略)										(中略)										

雨水回収タンク（J 2，J 3）から J 4－L 4，J 4－L 5 タンク への機能移 転に伴う変更

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（別冊 1 4 雨水処理設備等に係わる補足説明）																																		
変 更 前															変 更 後															変 更 理 由				
2. 2. 1. 2 機器要目																																		
(1) 転倒評価																																		
					機器質量 m（k g）					据付面からの重心 までの距離 H（m）					転倒支点から機器 重心までの距離 L（m）																			
モバイルRO膜装置 雨水受入タンク																																		
モバイルRO膜装置 処理水タンク																																		
雨水RO濃縮水受入タンク																																		
ろ過処理水受入タンク																																		
雨水回収 タンク		H9-1～3																																
		J6-1～6																																
		H6（I）, J2, J3																																
		G3 西-D7																																
		K																																
		H1-1, H1-2, J1																																
		B																																
中継タンク																																		
(中略)																																		
Ⅱ 雨水処理設備等の寸法許容範囲について																																		
1. 設備仕様																																		
1. 1 雨水回収タンク																																		
(中略)																																		
(2) J 2, J 3																																		
					主要寸法[mm]					寸法許容範囲																								
内径					9,000					JSME による公差（1. 0%）*1																								
胴板厚さ					12. 0					メーカー基準（±0. 65mm）																								
底板厚さ					12. 0					メーカー基準（±0. 65mm）																								
高さ					12, 012					メーカー基準（±5mm）																								
(以下, 省略)																																		

2. 2. 1. 2 機器要目																								
(1) 転倒評価																								
					機器質量 m（k g）					据付面からの重心 までの距離 H（m）					転倒支点から機器 重心までの距離 L（m）									
モバイルRO膜装置 雨水受入タンク																								
モバイルRO膜装置 処理水タンク																								
雨水RO濃縮水受入タンク																								
ろ過処理水受入タンク																								
雨水回収 タンク		H9-1～3																						
		J6-1～6																						
		H6（I）																						
		G3 西-D7																						
		K, J4-L4, J4-L5																						
		H1-1, H1-2, J1																						
		B																						
中継タンク																								
(中略)																								
Ⅱ 雨水処理設備等の寸法許容範囲について																								
1. 設備仕様																								
1. 1 雨水回収タンク																								
(中略)																								
(2) J 4－L 4, J 4－L 5																								
					主要寸法[mm]					寸法許容範囲														
内径					11,000					JSME による公差（1. 0%）*1														
胴板厚さ					12. 0					JIS による公差（+1. 6mm, －0mm）														
底板厚さ					12. 0					JIS による公差（±0. 8mm）														
高さ					13,000					メーカー基準（±40mm）														
(以下, 省略)																								

雨水回収タンク（J 2, J 3）から J 4－L 4, J 4－L 5 タンクへの機能移転に伴う変更

雨水回収タンク（J 2, J 3）から J 4－L 4, J 4－L 5 タンクへの機能移転に伴う変更

雨水回収タンク（J2, J3）からJ4-L4, J4-L5タンクへの機能移転に伴う変更

雨水回収タンク（J2, J3）からJ4-L4, J4-L5タンクへの機能移転に伴う変更